

G7広島サミット開催にあたっての日本政府への要請署名

日本政府は、5月19日から21日に広島で、主要国首脳会議「G7サミット」の開催を予定しています。

今回のサミットは、核大国のロシアがウクライナへの軍事侵攻を続け、核使用の威嚇を繰り返し、他方で軍事同盟の拡大や核兵器の増強、近代化によって世界が核兵器使用の危険に直面する中で開かれます。核兵器の使用を防ぐ唯一の確実な保証は、核兵器を廃絶することです。核抑止は現状を悪化させるだけです。力対力では何も解決しません。

今求められているのは、軍備の拡大や核兵器依存の悪循環から抜け出し、理性と外交の力によって解決することです。世界の良識ある多数の国々には、核兵器禁止条約の交渉に参加し、2年前に禁止条約を実現しました。あと5か国が署名すれば国連加盟国の過半数に達します。

日本政府は唯一の被爆国としての立場からも、日本国憲法と国民、被爆者・広島市民の願いからしても、核兵器の禁止を会議で訴えるべきです。そして、核兵器禁止条約の支持と参加の意思を率先して示すべきです。また、この機会に被爆者を招き、被爆体験を訴える機会を設けることを求めます。

最後に、今回のG7サミットの後には、次のNPT再検討プロセスがはじまり、秋の国連総会へと続きます。これらの会議が核兵器の使用や威嚇を許さず、「核兵器のない世界の平和と安全の達成」を実現するものとなるよう努力することを求めます。

2023年 月 日

【賛同し署名します】

お名前	
肩書き	

一言メッセージ

提唱団体（署名送付先）

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 TEL03-5842-6031 fax03-5842-6033